

役員名簿

(平成14年4月現在)

役職名	氏名	略歴
理事長	高島良正	理学博士 九州大学名誉教授
副理事長	中西弘	工学博士 山口大学名誉教授
常任理事	山崎侯典	九州電力(株) 環境部長
常任理事	楠田哲也	工学博士 九州大学大学院工学研究科教授
常任理事	花嶋正孝	工学博士 (財)環境保全公社リサイクル総合研究センター長 福岡大学資源循環・環境システム研究所名誉所長
常任理事	松藤泰典	工学博士 九州大学大学院人間環境学研究科(工学部)教授
常任理事	持田 勲	工学博士 九州大学機能物質科学研究所教授
理事	浅野直人	福岡大学法学部教授
理事	井村秀文	工学博士 名古屋大学大学院工学研究科教授
理事	加来英章	前当協会総務部長
理事	川野田実夫	大分大学教育福祉科学部教授
理事	坂元隼雄	理学博士 鹿児島大学理学部教授
理事	杉本正美	農学博士 神戸芸術工科大学芸術工学部教授
理事	鈴木義則	農学博士 九州大学名誉教授
理事	角 彬 寿	南九州大学園芸学部教授
理事	薛 孝 夫	農学博士 九州大学大学院農学研究院助教授
理事	槌本六良	医学博士 長崎大学水産学部長教授
理事	野中敬正	工学博士 熊本大学工学部教授
理事	古屋廣高	工学博士 九州大学名誉教授
理事	矢幡久	農学博士 九州大学熱帯農学研究センター長教授
監事	小田部 順一郎	(株)福岡銀行常任監査役
監事	永野博生	(株)福岡銀行監査役

役職名	氏 名	略 歴
評 議 員	有 川 節 夫	理学博士 九州大学大学院システム情報科学研究院教授
評 議 員	伊 藤 陽 一 郎	西日本空輸(株) 代表取締役社長
評 議 員	今 村 昭 夫	(財)九州経済調査協会理事長
評 議 員	内 海 英 雄	薬学博士 九州大学大学院薬学研究院教授
評 議 員	岡 道 也	(財)福岡都市科学研究所主幹研究員
評 議 員	小 林 邦 男	農学博士 九州大学名誉教授
評 議 員	島 岡 隆 行	工学博士 九州大学大学院工学研究院教授
評 議 員	白 石 哲	農学博士 九州大学名誉教授
評 議 員	中 野 勝 之	工学博士 福岡大学工学部教授 福岡大学環境科学技術研究所長
評 議 員	西 田 哲 明	理学博士 近畿大学九州工学部助教授
評 議 員	野 中 敬 正	工学博士 熊本大学工学部教授
評 議 員	花 嶋 正 孝	工学博士 福岡大学名誉教授 福岡県リサイクル総合研究センター長
評 議 員	外 村 征 洋	(株)太平環境科学センター代表取締役
評 議 員	宮 島 徹	理学博士 佐賀大学理工学部教授
評 議 員	柳 哮	理学博士 九州大学大学院理学研究院教授
顧 問	小 野 勇 一	理学博士 九州大学名誉教授
顧 問	竹 下 健 次 郎	工学博士 九州大学名誉教授 前当協会副理事長
顧 問	塚 原 博	農学博士 九州大学名誉教授 (財)福岡県筑前海沿岸漁業振興協会会長

一 編 集 後 記 一

◇去る3月19日、新しい地球温暖化対策推進大綱が決まりました。目標、対策ともに具体的で分かりやすいとの評価ですが、実効性のほうは疑問視されています。確かに旧大綱で地方の活動拠点とされた「都道府県温暖化防止活動推進センター」の設置状況等を勘案しますと、またも呼びかけだけで終り、成果は上がらないのではと懸念されます。新大綱では地域に「地球温暖化対策地域協議会」も新たに設置されます。今度こそ両活動拠点を通して、実効性の高い取り組みを推進して欲しいものです。いよいよ地方においても地球温暖化問題に真剣に取り組まなければならない時代になってきたようです。

◇さて、「環境管理」はこのたび第31号の発行となりました。巻頭言では西日本空輸(株)社長の伊藤陽一郎氏(当協会評議員)より登山から学ばれたことについて、序文では九州大学名誉教授の竹下健次郎先生(当協会名誉顧問)より「創立31年目を迎えて」と題し、それぞれ有益なお言葉をいただきました。論説では九州大学教授の持田勲先生(当協会常任理事)より21世紀におけるエネルギーと環境について、また、九州大

学名誉教授の三枝豊平先生より民間活力による昆虫分類同定施設の設立について、それぞれご高説をいただきました。随想では九州大学名誉教授の相原安津夫先生より地球史的視点からの環境と人間活動についてご寄稿いただきました。さらに鹿児島県環境保健センターの今村博香氏より地域特性の高い研究成果をご寄稿いただきました。その他、当協会職員による海外業務報告、視察報告、研究成果発表、学会報告、事業報告と多彩な環境情報を満載しました。お忙しい中に本誌のためにご執筆いただきました諸先生方に深く感謝申し上げます。

◇当協会のホームページに新たに「環境共生都市研究会」と「エネルギー・環境情報センター」の項目が加わりました。前者は、環境と共生する都市づくりを目指した学際的な研究の取り組みについて、後者は、当協会が特に力を入れている業務や「ビオトープ」などの新規業務について、それぞれご紹介したものです。どこも現下の経済不況を乗り越えるために懸命の努力を続けています。当協会もここにご紹介したような業務を成長の糧にして、一層の躍進を図りたいと思います。(編集担当:武藤・高木)

財団法人 九州環境管理協会会報「環境管理」第31号

平成14年5月1日発行

発行者 高島良正

発行所 (財)九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1丁目10-1

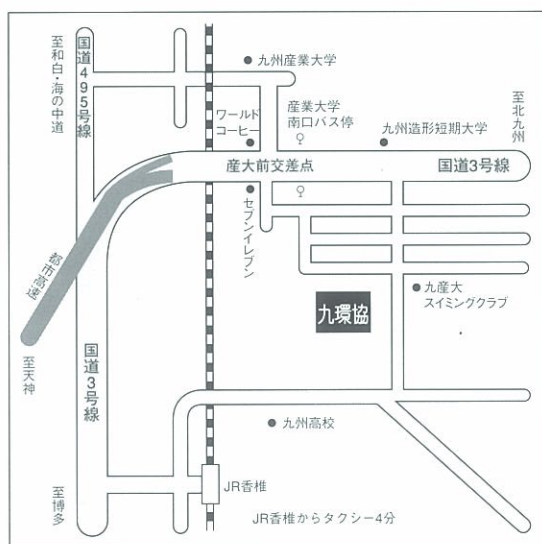
電話 (092) 662-0410(代)

FAX (092) 662-0411

印刷所 (有)一正堂

業務内容

計画・設計	環境管理計画 環境保全計画 都市計画 農村環境計画 公園・緑地計画設計 文化財保存整備計画
予測・解析	環境アセスメント 数値シミュレーション 景観シミュレーション 環境・都市情報システム開発
調査・分析	海洋調査 植生・動物調査 微生物分類・同定 景観調査 水質・大気質分析 農薬分析 底質・土壌分析 悪臭分析 騒音・振動調査・ダイオキシン分析
放射能	放射性炭素年代測定 環境放射能測定・調査・解析



ECOLOGY COMMUNICATION

地球をやさしく見つめる

財団法人 九環協

〒813-0004 福岡市東区松香台1丁目10番1号

☎ (092)662-0410(代表)

FAX (092)662-0411

<http://www.keea.or.jp/>

